

神奈川作業療法研究

The Journal of Kanagawa Occupational Therapy Research

投稿・執筆規定 ver.3

1. 本誌の目的

本誌は、一般社団法人神奈川県作業療法士会の学術誌として、神奈川県の作業療法に関する研究の振興を一層推進する観点から、①神奈川県作業療法士会の発展に寄与する研究・実践についての知見を会員間で広く共有すること、②成果の公表により神奈川県作業療法士会の学術研究活動を内外へ広報すること、③神奈川県作業療法士会およびその会員の学術レベルの向上をはかることを目的とする。

2. 投稿資格

筆頭著者は、神奈川県作業療法士会正会員であって、応募年度までの会費納入を済ませた作業療法士に限る。共著者は本会会員でなくても構わないが、作業療法士である場合は、社団法人日本作業療法士協会に入会し、かつ本会もしくは他都道府県作業療法士会において、応募年度までの会費納入を済ませていることを条件とする。また、編集委員会の決定により会員外の著者に投稿を依頼することができる。

3. 投稿記事の種別

投稿記事の種別は、「研究論文」、「実践報告」、「総説」、「短報」で、他誌に未発表のものとする。

- ① 研究論文：実験、調査、臨床経験、理論研究などから得られた独創的で新規性のある知見を含む結果の考察および記述のある論文。
- ② 実践報告：特色ある作業療法実践（事例報告を含む）に焦点を当てた治療手段としての活動、装具、自助具、遊具などのアイデアの紹介を目的とする論文。
- ③ 総説：作業療法に関連するテーマについて、過去の研究を概観し、将来的展望を視野においた組織的な論評および総括を目的とする論文。
- ④ 短報：独創性のある所見、見解の速やかな発表を期待するパイロット的研究報告を目的とする論文。
- ⑤ その他：学術論文ではないが、学術活動の紹介、学会参加報告、研究の資料など、県士会の学術活動に寄与する記事。

4. 原稿の採否

原稿は2名の査読者によって査読し、原稿の採否は編集委員会で決定する。場合により、加筆、修正をお願いすることがある。また編集委員会の責任において、多少の字句の訂正をすることがある。

5. 論文執筆支援員制度

会員の本誌への投稿を援助する目的で、「論文執筆支援制度」を設置する。この制度は、本誌にぜひ投稿してみたいという会員に対して、必要に応じて助言及び指導を行う。本制度の利用を希望するものは、編集委員会に申し込みを行うものとする。実際に論文執筆支援を行う委員は、編集委員会において決定するが、助言及び指導を行った委員は、当該論文の査読は担当しないこととする。論文執筆支援制度の利用を希望する会員は、下記編集委員会まで問い合わせること。

6. 原稿執筆要領

- ① 著者は、著作権や研究対象者の人権の尊重に努める。
- ② 原稿の形式は表題、著者名、所属、要旨（400字以内）、key words（3つ）、本文、文献、図表によって構成する。
- ③ 原稿枚数：
研究論文：12000字（400字詰め原稿用紙30枚）以内
実践報告：12000字（400字詰め原稿用紙30枚）以内

総説：研究論文に準じる

短報：4000字（400字詰め原稿用紙10枚）以内

その他：12000字（400字詰め原稿用紙30枚）以内

尚、図表は1個を400字（400字詰め原稿用紙1枚）として換算すること。

- ④ 投稿原稿は、冒頭に種別を明記する。
- ⑤ 投稿原稿は、全て横書きとして、ワードプロセッサにてA4の用紙に、40字×20行で見やすく配列する。また、本文には下段に頁番号をつける。
- ⑥ 本文は、原則として、はじめに（緒言）、方法、結果、考察、文献等の小見出しをつける（特に「研究論文」、「実践報告」の場合）。
- ⑦ 文章表現は、現代かなづかいとし、数字は算用数字、数量は国際単位系（SI単位）記号を用いる（例；m, cm, mm, ml, kg, cm² など）。
- ⑧ 外国語名（地名、人名、その他）は、原則として原語を用い、略語はカッコ内にフルスペルで記載する。
- ⑨ 文献リストは引用文献のみとし、引用順に配列して下さい。著者名は、5名までを記載し、6名以上は“他”とすることを原則とし、表記の形式は以下の例を参照のこと。

- 1) 横須賀太郎, 横浜花子, 三浦研二, 関内洋子: 回復期病棟における筋力増強訓練の効果. 作業療法科学 20(5): 465-471, 2001.
- 2) Yokosuka T, Yokohama H, Miura K, Kannai Y, Minato M *et al.*: Motor learning through mental practice with motor imagery. Arch phys Med Rehabil 150: 1200-1210, 2020.
- 3) 千野直一: 臨床筋電図・電気診断学入門. 医学書院, 東京, 1997, pp102-104.
- 4) Reid J: Computer and occupational therapy. In Creek J(*ed*), Occupational Therapy and Mental Health. Churchill Livingstone, New York, 1990, pp. 267-288.

- ⑩ 図・表はすべて表題をつけ、それぞれを本文とは別にまとめ、本文中および欄外に図・表の挿入場所を明示する。図は鮮明でそのまま製版できるものを準備する。引用・転載の図・表は、それぞれの出典を明記する。
- ⑪ 原稿は、原則として下記編集委員会まで電子メールに添付して送付すること。
原稿はPDFファイルに変換すること。その際、必ず2部（1部は査読用として氏名、著者を抜いたもの）を送付すること。書類のPDF化が難しい場合には、編集委員まで問い合わせること。
- ⑫ 受理原稿の印刷校正は、投稿者の責任で初稿のみとし、校正には赤字を用いる。
- ⑬ 本誌に採用された論文の著作権は、一般社団法人神奈川県作業療法士会に属する。

7. 別刷進呈

各論文の筆頭著者に別刷30部を進呈します。

8. 原稿送付先および連絡先

〒238-8522

神奈川県横須賀市平成町1-10-1

神奈川県立保健福祉大学リハビリテーション学科 作業療法専攻内

「神奈川作業療法研究」編集委員会 白濱勲二 宛

TEL & FAX: 046-828-2727

E-mail: shirahama-k@kuhs.ac.jp

(2015年8月1日改定)